

肛門科のカルテ

痔瘻（あなじ）

「痔瘻」は、肛門の周辺に穴ができて、そこから膿が出る病気です。女性に多い「裂肛」とは違い、青年期から中年期の男性に多くみられるのが特徴です。

直腸と肛門の間には、「肛門陰窩」と呼ばれる小さなポケット状のくぼみがあります。体の抵抗力が落ちている時や下痢が続いている場合などに、このくぼみから細菌が入り込み、肛門周囲にまで炎症が広がることがあります。膿が溜まり腫れてくると痛みます。炎症が治まらない場合はどんどん腫れが強くなり、痛みが増します。なかには腰の奥の方まで広がることもあります。腫れている部分を切開すると、溜まっている膿が排出されるため痛みは改善します。しかし、直腸肛門から生じた膿の通り道ができてしまうと、その後も肛門周辺の穴から膿が出続けることとなります。この膿が通る管を「瘻管」と呼びます。瘻管が形成

された状態を痔瘻と言いますが、一時症状がおさまっても繰り返し腫れることとなります。

痔瘻の治療にはいくつかの方法がありますが、正確に完治させるためには、この痔瘻の管を切除し、傷がきちんと治らなければなりません。ただし瘻管は多くの場合、肛門を締める括約筋という大事な筋肉を貫いて通っています。ですから、この括約筋の修復を念頭においた手術を考えないといけません。複雑なタイプの痔瘻では、この括約筋の障害がどうしても避けられない場合があります。痔瘻は、早い時期に正確な手術を受けることをお勧めいたします。

副院長 鉢呂芳一



医療法人健康会

くにもと病院

KUNIMOTO HOSPITAL

旭川市曙1条7丁目2番1号

TEL 0166-25-2241

診療受付
時間

月～金 9:00～11:30、14:00～16:00

土 9:00～11:30

日・祝 休診